

ご多用中誠に恐縮ですが、8月20日(火)の期限までに「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

※ご返送いただけない場合は、青字表示データを中心に掲載させていただきます。また、総合調査表をご回答いただく場合、本基礎調査表のご回答は不要でございます。 ※緑字は前回時点のデータで参考情報です。赤字でご回答がない場合は未回答となりますので、後日弊社担当者より確認させていただく場合がございます。ご注意ください

御社名：(株)東洋経済工業
ご回答担当者名：東洋太郎
※傘下会社名：(御社が純粋持株会社の場合に記入)
同、部署名：人事部
※単体ベース以外のご回答の場合、その内容：
同、TEL：03-3246-0000
小社使用コード：(この欄は小社で入力)
同、FAX：03-3242-0000

小社東洋経済CSRオンラインにご用意しております「ご回答の手引き」をご参照のうえ、ご回答ください。

Q1 2022年度、2023年度それぞれ期末時点の従業員関連データをご回答ください ※記載基準はいずれも有価証券報告書記載の単体ベース (「従業員の状況」の「提出会社の状況」でお願いいたします。なお、時点・基準が上記と異なる場合は、注記欄に各データについて具体的に回答ください)

Table with 4 columns: 従業員数, 平均年齢, 勤続年数, 平均年間給与, 臨時雇用者数, 連結従業員数. Rows for 2022 and 2023. Includes gender breakdown (合計, うち男性, うち女性).

22年度注記
23年度注記

記入例

Q2 多様な人材の役職登用状況(2023年度末、あるいは直近時点)についてご回答ください ※緑字は前回時点のデータです。新たにご回答ください

Table showing diversity metrics: 2023年4月, 現在(年月), 女性人数, 男性人数, 外国人人数, 女性比率. Includes sub-tables for management and staff.

※「管理職」とは、「部下を持つ職務以上の者、ならびに部下を持たなくともそれと同等の地位にある者」を指す。「役員」は除く。「女性比率」は、各男女合計中の女性比率(小数第1位まで、同第2位を四捨五入)。「役員」は、社内・社外問わず取締役・監査役および執行役員、執行役の合計

①多様な人材の管理職比率に関する目標値→ 日本人男性以外の管理職比率20%
②女性管理職比率に関する目標値→ 2025年末までに20%

※目標値・年次など具体的にご回答ください(女性のみの目標値の場合は②のみ)。定義・基準が上記の人数と異なる場合は、注記欄に具体的にご回答ください

注記

Q3 多様な人材の能力活用についてご回答ください

多様な人材の能力活用・登用を目的とした専任部署の有無(1つ選択)
1. 専任部署あり 2. なし 3. 設置予定あり 4. その他 ()

部署名(ダイバーシティ推進部) 設置年月(2007年4月)

注記

Q4 障害者雇用の取り組みについてご記入ください ※201~2023年度末時点における該当者数(実人数。短時間労働者を0.5人などにせず全員1人としてください)および障害者雇用率(算出方法は法定雇用率に準ずる)をご回答ください(雇用率は小数第2位まで、同3位を四捨五入)

Table with 4 columns: 該当者数(実人数), 障害者雇用率. Rows for 21, 22, 23 years.

障害者雇用率に関する目標値→ 2024年度までに2.5%以上

注記

Q5 年次有給休暇の取得状況についてご回答ください ※いずれも全従業員平均ベース(合計ではありません)。有休付与日数は繰越分を除く

Table with 4 columns: 有休付与日数, 有休取得日数, 取得率(小数第1位まで). Rows for 2021, 2022, 2023 years.

注記

Q6 2021年4月1日入社者の定着状況についてご回答ください(学歴に関係なく、新卒入社者全員) ※緑字は前回時点のデータです。新たにご回答ください

Table with 4 columns: 2021年4月1日入社, うち2024年4月1日在籍者. Rows for gender breakdown (男女計, 男性, 女性).

※2021年4月入社が0人の場合は、前年(2020年4月→2023年4月)に置き換えてご回答ください。それ以外の場合はお問い合わせください

注記

Q7 CSR担当部署の有無(1つ選択)
1. 専任部署あり 2. 兼任部署で担当 3. なし 4. その他 ()

担当部署名(CSR推進本部)
※直近の名称でご回答ください。ご担当部署が複数ある場合はそれぞれご回答ください

注記

Q8 CSR活動の報告についてご回答ください

CSR活動の報告媒体について(1つ選択)
1. 紙媒体のみ 2. Webのみ 3. 両方(紙・Web) 4. 作成予定(いずれかも含む)
5. その他 () 6. 媒体はない

※上記で「1. 紙媒体のみ」「2. Webのみ」「3. 両方(紙・Web)」を選択した場合にご回答ください

第三者の関与(レビュー・保証など)の有無(1つ選択) 1. あり 2. なし 3. その他
英文での報告(原則公開されているもの)の有無(1つ選択) 1. あり 2. なし 3. 作成予定

注記

CSR活動の報告を行うWebサイトのアドレスをご回答ください
https://biz.toyokeizai.net/~csr/

注記

Q9 CSR活動でのNPO・NGO等との連携についてご回答ください

NPO・NGO等との連携の有無(1つ選択)
1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. その他 ()

主な連携先をご回答ください
東洋CSRNPO法人

注記

Q10 サステナブル調達の取り組みについてご回答ください

サステナブル調達の実施について(1つ選択)
1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中
4. その他 ()

Q11 御社が参画する地域社会参加活動について、具体的な事例を3つまでご回答ください(200字程度以内)

- ①秋田市の要請で大正期に建てられた英国風山荘を修復。企業メセナ活動の一環として開館
②主力の岡山工場で毎年「環境対話集会」を開催。工場見学の実施
③神戸市に「科学技術館」を開設し、弊社の技術開発の歴史を紹介

Q12 事業活動による環境への影響(気候変動、生物多様性等)についてご回答ください

気候変動対応に関する取り組みについて(1つ選択)
1. 行っている 2. 行っていない 3. その他 ()

再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱など)の事業所、本社ビル等への導入について(1つ選択)

1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中 4. その他 ()

●ご回答ありがとうございました。お手数ですが、「窓口ご担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。
調査表のご返送先 東洋経済新報社CSRデータ開発チーム 東洋経済「CSR調査」受入専用窓口 ◆Mail: accept-csr@toyokeizai.co.jp
住所: 〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

調査内容に関するお問い合わせ先 CSRデータ開発チーム (Mail: csr@toyokeizai.co.jp)